

南アメリカ・オセアニア 州

名前

- 問1

16世紀にスペインに征服されるまで、現在のペルーやボリビアを中心としたアンデス山脈沿いの高地で栄えた、マチュピチュなどの石造りの都市遺構で知られる帝国を何とといいますか。（2017年 静岡県公立入試 類似）

1. インカ帝国

2. ムガル帝国

3. アステカ帝国

4. マヤ文明
- 問2

オーストラリアの貿易統計において、1960年時点で輸出額の約3割を占めて最大だった国と、2013年時点で約27%を占めて最大となっている国を正しく組み合わせたものはどれですか。（2021年 沖縄県公立入試 類似）

1. 1960年：アメリカ合衆国、2013年：日本

2. 1960年：日本、2013年：アメリカ合衆国

3. 1960年：イギリス、2013年：中国

4. 1960年：イギリス、2013年：インド
- 問3

オーストラリアなどの大規模な鉱山で見られる、地表から直接、鉱石をすり鉢状に削り取っていく採掘方法を何とといいますか。（2022年 滋賀県公立入試 類似）

1. 坑内掘り

2. 露天掘り

3. 輪作

4. 棚田
- 問4

オーストラリアの人口構成の変化に関する統計において、1961年と2016年の状況を比較した説明として、歴史的な背景を含めて正しく述べたものはどれですか。（2024年 長野県公立入試 類似）

1. アジア州からの移民増加により、2016年時点ではヨーロッパ州出身者の割合は10%未満まで激減した。

2. 1960年代以降、ヨーロッパ州からの移民受け入れを完全に禁止したため、アジア州からの移民が過半数を占めることとなった。

3. かつて主流だったアフリカ州からの移民が減少し、代わりにアジア州とヨーロッパ州からの移民が同程度の割合になった。

4. 移民総数が約4倍に膨らむ中で、アジア州出身者の割合が約44%に達し、ヨーロッパ州出身者を上回るようになった。
- 問5

オーストラリア大陸の東経150度付近の沿岸部から遠く離れた、大陸のほぼ中央に位置する広大な乾燥帯の景観や文化的な特徴について説明した文として、最も適切なものを選びなさい。（2017年 愛知県公立入試 類似）

1. 先住民の聖地とされる世界最大級一枚岩があり、その文化的価値から世界遺産に登録されている

2. アンデス山脈の標高の高い場所に位置し、太陽の神を信仰した古代帝国の石造建築が残っている

3. アフリカ大陸の赤道直下に位置する独立峰で、山麓では熱帯特有の農作物が栽培されている

4. インダス川の流域に位置する都市遺構で、高度な治水技術やレンガ造りの建物が特徴である
- 問6

南アメリカ大陸の西側に位置し、大陸を南北に約7000kmにわたって貫く、世界最長の褶曲山脈の名称として適切なものはどれですか。（2021年 京都府公立入試 類似）

1. ロッキー山脈

2. アンデス山脈

3. ヒマラヤ山脈

4. ウラル山脈
- 問7

南アメリカ大陸で最大の面積を誇る国について述べたものとして、最も適切な名称を選びなさい。この国は、大陸の東側に広大な領土を持ち、かつてポルトガルの植民地であった歴史から、周囲の多くの国々とは異なりポルトガル語を公用語としているという特徴があります。（2019年 大阪府公立入試 類似）

1. チリ

2. アルゼンチン

3. ペルー

4. ブラジル
- 問8

南アメリカ大陸を西海岸から東海岸に向かって横断した際の、地形の変化を説明した文として正しいものはどれですか。（2024年 愛知県公立入試 類似）

1. 大陸の西側と東側の両方に標高五千メートル級の険しい山脈が並行して走り、その中間地点である大陸中央部が最も標高が低くなっている。

2. 西海岸から中央部にかけては広大な平原が続き、東海岸に近づくにつれて標高六千メートルを超える険しい山脈が急激に現れる。

3. 西海岸付近に標高五千メートルを超える急峻な山地がそびえ立ち、そこから東に向かうにつれて標高が二千メートル以下へとなだらかに低くなっていく。

4. 大陸の西側から東側まで、全域にわたって標高四千メートル以上の険しい高原地帯が続き、標高の変化がほとんど見られない。
- 問9

南アメリカ大陸の気候構成に関する説明として、統計的な特徴に基づき述べたものとして正しいものはどれですか。（2016年 大阪府公立入試 類似）

1. 大陸面積の約6割を熱帯が占めており、他の大陸と比較して熱帯の占める割合が最も高い。

2. ユーラシア大陸と同様に、冷帯や寒帯が面積の半分以上を占める構成となっている。

3. 北部の大部分が冷帯（亜寒帯）に属しており、熱帯は南部のわずかな地域に限られている。

4. 広大な砂漠が大陸の大半を占めているため、乾燥帯の面積が熱帯よりも広がっている。
- 問10

アマゾン川流域における農業において、マホガニーなどの樹木とカカオやバナナなどの農作物を同じ場所で組み合わせて育てる取り組みについての説明として、最も適切なものはどれですか。（2022年 宮崎県公立入試 類似）

1. 化学肥料や農薬を大量に使用して森林を全面的に開き、短期間で牧草地や大豆畑へと変更する。

2. 一種類の農作物に特化した大規模な栽培を行うことで、特定の作物の生産効率を飛躍的に向上させられる。

3. 日かげを作る樹木と農作物を混ぜて育てることで、単一作物への特化を防ぎ、土壌流失や病害虫の被害を抑えられる。

4. 森林の樹木を全て伐採して焼き払い、その灰を肥料とすることで数年ごとに耕作地を移動しながら栽培する。
- 問11

オーストラリアの主要な輸出相手国が、1960年代のイギリスから、近年は中国などのアジア諸国へと変化した背景として最も適切な説明はどれですか。（2021年 沖縄県公立入試 類似）

1. 白豪主義を維持するためにヨーロッパ諸国との貿易を制限し、地理的に近い日本や中国などのアジア諸国のみに輸出を限定する政策をとったため。

2. 北米自由貿易協定（NAFTA）の影響でアメリカ合衆国との貿易摩擦が激化し、その対抗策としてイギリスとの関係を断絶したため。

3. 東南アジア諸国連合（ASEAN）に正式に加盟したことで、域内の関税が撤廃され、イギリスに代わってタイやベトナムとの貿易が最優先されたため。

4. イギリスが欧州共同体（EC）に加盟してオーストラリアとの結びつきが弱まる一方、中国などで工業化が進み、鉄鉱石などの資源需要が高まったため。
- 問12

ブラジルにおける農業の発展と環境問題の関連性について、その背景と経緯を説明した文章として正しいものはどれですか。（2020年 大分県公立入試 類似）

1. 世界的なコーヒー価格の下落を受け、沿岸部の広大な干潟を埋め立てて工業団地を造成したことが、海洋環境の悪化を招いた。

2. 人口増加による食料不足を解消するため、アンデス山脈の急斜面を大規模に開墾して小麦の作付面積を増やしたことで、土壌流出が起きた。

3. 北米自由貿易協定（NAFTA）への加盟を機に、アメリカ向けの輸出用トウモロコシ栽培に特化した結果、農業による地下水汚染が深刻化した。

4. 石油危機によるバイオ燃料の需要増や、中国の発展にともなう飼料用大豆の需要増に応えるため、熱帯林を切り開いて農地を拡大した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 インカ帝国	15世紀から16世紀にかけて、南アメリカ大陸の西部で巨大な勢力を誇ったのがインカ帝国です。文字を持たない代わりに「キープ」という紐の結び目で情報を記録する独自の文化を持ち、標高の高い山岳地帯に高度な石造建築の技術を用いた都市を築きました。
問2	答え 3 1960年：イギリス、2013年：中国	オーストラリアはかつてイギリスの植民地であった歴史的背景から、1960年代までは宗主国であるイギリスとの貿易が中心でした。しかし、その後イギリスがヨーロッパの経済統合（ECへの加盟）を優先したことや、アジア諸国の経済発展に伴い、貿易相手はアジアへと移行しました。現在では、鉄鉱石や石炭などの資源を大量に輸出している中国が最大の貿易相手国となっています。
問3	答え 2 露天掘り	地表から直接削り取るこの方法は、地下にトンネルを掘る「坑内掘り」に比べて、大型の重機を投入しやすく大量の資源を効率的に採取できるという特徴があります。オーストラリアでは鉄鉱石や石炭の採掘において広く採用されています。
問4	答え 4 移民総数が約4倍に膨らむ中で、アジア州出身者の割合が約44%に達し、ヨーロッパ州出身者を上回るようになった。	1961年の移民数178万人から2016年の691万人へと、オーストラリアの移民規模は約4倍に拡大しました。この過程で、かつて約9割に達していたヨーロッパ州出身者の比率が低下し、アジア州出身者が43.9%と最も高い割合を占めるようになりました。この変化は、オーストラリアがアジアの一員としての経済的・社会的な関係を重視するようになった現代の姿を反映しています。
問5	答え 1 先住民の聖地とされる世界最大級一枚岩があり、その文化的価値から世界遺産に登録されている	オーストラリア大陸の内陸部は、南回帰線付近の中緯度高圧帯の影響を受けて降水量が非常に少なく、広大な砂漠が広がっています。その中心部に位置するウルル（エアーズ・ロック）は、地質学的に珍しい巨大な一枚岩であるだけでなく、先住民アボリジニの聖地としての歴史的・文化的背景が強く反映されている点が特徴です。このような自然と文化の両方の価値を持つ遺産は複合遺産と呼ばれます。
問6	答え 2 アンデス山脈	南アメリカ大陸の太平洋側に沿って形成された巨大な褶曲山脈であり、環太平洋造山帯の一部です。世界で最も長い山脈として知られ、高地にはかつてインカ帝国が築かれるなど、独自の歴史と文化が育まれました。
問7	答え 4 ブラジル	南アメリカ大陸の約半分を占める面積を持つこの国は、かつてポルトガルの領土であったため、スペイン語を公用語とする近隣のアルゼンチンやペルーなどとは異なる文化圏を形成しています。地理的には大陸の東部から中央部にかけて広がっており、赤道付近の熱帯から南部の温帯まで多様な気候帯が含まれます。
問8	答え 3 西海岸付近に標高五千メートルを超える急峻な山地がそびえ立ち、そこから東に向かうにつれて標高が二千メートル以下へとなだらかに低くなっていく。	南アメリカ大陸の地形断面を見ると、西側の太平洋沿岸に非常に高く険しいアンデス山脈がそびえています。この山脈を越えて東（大西洋側）へ向かうと、アマゾン川流域に広がる広大な低地や、標高の低い安定した高原が広がっています。このように、大陸の西側に極端に高い山脈が偏っているのが南アメリカ大陸の大きな地形的特色です。
問9	答え 1 大陸面積の約6割を熱帯が占めており、他の大陸と比較して熱帯の占める割合が最も高い。	南アメリカ大陸はアマゾン盆地を中心に広大な熱帯雨林が広がっており、その面積は大陸全体の6割以上に及びます。これはアフリカ大陸（熱帯が約4割）やオーストラリア大陸（乾燥帯が約5割強）といった他の低緯度・中緯度の大陸と比較しても、熱帯が占める比率が圧倒的に高いという特有の分布を示しています。
問10	答え 3 日かげを作る樹木と農作物を混ぜて育てることで、単一作物への特化を防ぎ、土壌流失や病害虫の被害を抑えられる。	日かげを作る樹木と農作物を組み合わせると、大雨による土壌流失を防ぐだけでなく、特定の病害虫による被害を軽減し、費用や肥料を抑えながら安定した収穫を得ることができます。
問11	答え 4 イギリスが欧州共同体（EC）に加盟してオーストラリアとの結びつきが弱まる一方、中国などで工業化が進み、鉄鉱石などの資源需要が高まったため。	1960年代以降、イギリスがヨーロッパ域内の経済組織であるEC（現EU）に加盟したことで、それまでイギリス連邦内で行われていた貿易上の優遇措置が減少しました。これと同時期に、高度経済成長を遂げた日本や、その後に急速な工業化を果たした中国など、アジア諸国において鉄鉱石や石炭といった地下資源の需要が急増したため、オーストラリアはアジア太平洋地域の一員としての経済関係を強めるようになりました。
問12	答え 4 石油危機によるバイオ燃料の需要増や、中国の発展にともなう飼料用大豆の需要増に応えるため、熱帯林を切り開いて農地を拡大した。	ブラジルの農業生産の変化は、国際社会の動向と強く結びついています。1970年代の石油危機によるエネルギー政策の転換、および2000年代の中国の経済成長による農産物需要の拡大という2つの大きな節目を経て、さとうきびや大豆、畜産物の生産が飛躍的に伸びました。しかし、生産量を増やすためにアマゾンなどの熱帯林を農地へ転用したことが、森林減少という深刻な環境負荷を与えています。選択肢にある「沿岸部の埋め立て」や「工業化の進展」は、この文脈における森林破壊の直接的な要因ではありません。